令和８年９月定例教育委員会定例会　会議録

１．開催日時：令和８年９月１７日（木）１３：３０ ～１４：２３
２．場所　　：古賀市役所　第２庁舎　４０２会議室
３．出席委員：長谷川教育長　木村教育長職務代理　小山委員　松下委員　松本委員　狩浦委員
４．欠席委員：なし
５．出席職員　：教育部長　桐原誠、教育部理事兼教育総務課長　吉永ゆかり、学校教育課長兼主幹指導主事　井上久子、学校教育課主任指導主事　中野貴仁、生涯学習推進課長　割石明日香、青少年育成課長　長﨑英明、文化課長　坂井由香、学校給食センター所長　村山隆一、教育総務課庶務係長　波多江由美
６．傍聴者　：なし

７．会議内容
１．開会
【木村議長】１３時３０分、開会を宣言。

２．教育長あいさつ
開会にあたり長谷川教育長があいさつ

３．会議録の署名委員の指名について
【教育長】会議録署名委員は会議規則第２８条の規定により教育長及び会議で決めた委員１名となっておりますので、木村職務代理を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

４．会議の非公開について
【木村議長】本日の会議は基本公開とします。

５．諸報告
（１）教育長報告
（資料により、９月１１日開催の管内教育長会の報告及び説明）
（２）教育委員情報交流
・教育委員８年間を振り返って
【教育長】このメンバーでの会議は最後になります。去られるお二人については、様々な、今後の教育委員会や学校教育の在り方など、今まで言い足りなかったこと、言っておきたかったことをおっしゃっていただき、３人の委員さんも、いろんな御意見を頂ければと思います。よろしくお願いします。
【小山委員】入札方式や業者選定方法などには慎重な対応を。不登校児童生徒の増加⇒ひきこもらない、将来につながる、生きる力をつける施策を。特別支援学級担任のストレス軽減のためのサポートの確立。
【木村議長】不登校児童生徒の増加について。この１０年で爆発的に増加していると感じている。文部科学省「学校に行かないのも選択肢のひとつ」としたが、疑問に感じている。学校教育は基礎基本を積みあがっていく。読める・書ける・計算できる・考える・人と話せるという力は学校でしかつかないものだと思います。以前不登校対応の経験から小学校低学年から登校できない子は問題を読んでも意味がわからない。そのまま成長して

いくと思うと将来が不安でした。学校がすべてではないことは理解しているが、学校で積みあげる基礎学力の重要性と自分で生きていくための力は必ずどこかで身に着ける必要性。せめて小学校低学年のうちは学校に通い学ぶ場所を提供してほしいと常々思っている。２点目はAIやSNSの利用について、私自身は低学年・中学年は紙で勉強してほしいなと子どもたちは手と目と口を使って考えていくと思うので、そういう力をその低学年のうちに、しっかり身につけさせるような教育も大事にしてほしいと常々考え感じています。

【狩浦委員】お世話になったことを感謝しております。木村先生からは、スムーズな進行、さらには事前に会議準備のアドバイスをもらったりしてすごく助かりました。教員の時は不登校対応に悩みました。今は不登校でも家で時間を潰す媒体が多い。インターネット環境で侵された子どもたちを外に救い出すことの難しさ・不登校解消のためのハードルが上がったと感じている。

【松下委員】大変お世話になりました。小山委員とはプライベートでも自然と子どもたちの話になりました。子どもが大きくなった時に自立して生活できるよう、視点を持って過ごしていきたい。教育活動をすすめていきたい。

【松本委員】木村委員とは仲原小の同僚で教頭会校長会でもつながりがありなんでも話せる関係で良かった。今も寺子屋つながりで退任された後もそういった情報交換しながらお互い地域の子どもたちのために頑張っていきたいと思っております。小山委員の通学合宿などで自然体で子どもに向き合える人柄が素晴らしいと感じています。

【教育長】５名の委員の皆さん、いろんなご意見ありがとうございます。それぞれ後ろにいる、それぞれの課長が、今のことを踏まえて早速明日からでも取り組めるものは取り組んでいくと思っています。私も現場にいる頃から行事が子どもを育てると学級活動などに力を入れていました。それがだんだん薄れてきている気がしています。みんなの食堂・子どもの食堂・通学合宿・寺子屋など子どもの居場所・行き場所づくり地域の方にご協力いただける波が来ている。補助も含めできる限り続けていけるよう取り組みます。今一度今後のICT教育については、学校長と話し合いながら令和９年度以降教育課程の実施について生かしていきたいと思っています。様々な思いとか、ご意見を頂いたことに感謝をします。今後に生かしてまいりたいと思います。ありがとうございました。

（３）教育委員会報告

・市議会第３回定例会について

６．議案

【木村議長】本日議案はありません。

７．協議事項

【木村議長】協議事項はありません。

８．その他事項

（1）各課報告

教育部長　　なし

教育総務課　　なし

学校教育課

・児童生徒指導状況について　　（学校教育課長が資料により報告）

・令和８年度古賀北中学校学校訪問について　　（主任指導主事が資料により報告）

・全国学力学習状況調査の分析について　　（主任指導主事が資料により報告）

生涯学習推進課　なし

文化課

・令和８年度企画展

「“みて”“さわって”“かんじる”昭和の道具～昭和３０から５０年代を中心に～」

開催報告　来場者１，６６０人　　（文化課長が口頭により報告）

青少年育成課　　なし

学校給食センター

・給食センター見学会について　　（学校給食センター所長が資料により報告）

【木村議長】各課報告についてご質問はありますか。

【松本委員】中学校の不登校解消、復帰が昨年度より大幅に増えていていいことだと思いますが、何か明らかな要因、分析できているものは、ありますか

【学校教育課長】学校で不登校生徒に特化して、教育相談会議を毎週もしくは隔週で開催し、担任だけでなく、学年の教員や、部活動の顧問、授業で関わりの深い教員などによるサポートチームを組織し、情報を共有しながら、支援する体制を整えたことが一つの要因として考えられます。教育相談会議には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの情報を共有し、その後、チームとして具体的な支援を行い、再び、また教育相談会議で状況を確認するという継続的な支援の流れができてきていると分析をしており、児童生徒の変化を早期に捉え、そして、登校につながる支援に結びついたものと考えておりまして、継続して状況を把握し、必要な支援につなげていきたいと考えているところです。

【松本委員】早期発見、早期対応、チームで対応していくと。必ず子どもの変化を観察しながら継続していくという、柔軟な支援体制や校内支援センターが機能してることが、非常にうれしく思ってます。以上です。

（2）その他

教育総務課長　（行事予定の説明）

庶務係長　（定例会のスケジュール）

９．閉会

議長が閉会を宣言し、１４時２３分閉会した。

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

令和 8年 9月30日

教育長 長谷川清子

署名委員 木村眞由美